

【指揮】 ジョナサン・ストックハマー Jonathan STOCKHAMMER

1969年ロサンゼルス生まれ。若い世代の中で最も多才な指揮者の一人。

ロサンゼルス・フィルハーモニック、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルン WDR 交響楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、シドニー交響楽団などのオーケストラと共演。ドナウエッシンゲン音楽祭、ウィーン・モデルン、ザルツブルク音楽祭などで客演指揮者を務める。

特にオペラとの関わりが深く、2009年にはシュトゥットガルト放送交響楽団とヴォルフガング・リームの『プロセルピナ』の初演を指揮した。リヨン歌劇場にも定期的に客演しており、パスカル・デュサパンの『ファウストゥス 最後の夜』のフランス初演を指揮、パリ・シャトレ座やフィルハーモニー・エッセンでも本作を指揮した。

アンサンブル・モデルンと共にフランク・ザッパの音楽をフィーチャーした CD や、ペット・ショップ・ボーイズと共に録音したエイゼンシュテイン監督の映画『戦艦ポチョムキン』の新しいサウンドトラックなど、様々な音楽ジャンルにおいて活躍している。チック・コリア、ゲイリー・バートン、シドニー交響楽団との共演による『ニュー・クリスタル・サイレンス』の録音は、2009年にグラミー賞を受賞した。『狐の物語』などのプロダクションがある。